

NEWS

誰がいつ決めた

鷺沼駅前再開発

署名 まちづくり委員会で不採択

1万人の住民の声を無視する暴挙

川崎市議会まちづくり委員会は5月26日開かれ、現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（「宮前区の会」）が取り組んだ「鷺沼駅前再開発・タワマンの見直し」といまの宮前区役所の存続と2つの図書館・市民館の設置を求める陳情」署名について審査し、不採択としました。

宮前区で初めて実現した1万人の住民の声を無視する暴挙です

共産以外の会派が反対

審査の中では、共産党の石川議員が、宮前区には2つの図書館・市民館が必要なことを強調し、署名を継続審議にすることを求めました。また、私たちが危惧

した小中学校などのインフラ整備について自民党議員から注文がきました。1万人署名の重みを反映した注文でした。

しかし、署名の採択では、自民党議員が、「鷺沼駅前再開発についての住民への説明はすでに周知徹底されている」とのべ、みらい（立憲）の議員は「鷺沼再開発をすすめなければ、鷺沼はさびれてしまう」などと発言し、採択に反対しました。

その結果、継続（採択）に賛成したのは、共産党の石川、市古の2議員にとどまり、自民、公明、みらい〈立憲〉、無所属の9人が不採択に回り、継続2、不採択9で否決されました。

今回、陳情を不採択とした議員は、区役所移転、鷺

沼再開発について住民が危惧する声に背をむける姿をあらわにしました。住民の声を市政に反映する市議の職責を放棄したものといわなければなりません。

1万人署名の重み

署名は不採択となりましたが、川崎市のまちづくり局は「1万人を超える署名の重みをふまえ、これからも丁寧に住民への周知徹底をはかっていきたい」とのべざるを得ませんでした。

今後の活動に生きる発言です。鷺沼再開発、区役所移転の問題点を市民に知らせ、住みよい宮前区をつくるために住民の声を川崎市に届ける取り組みはこれからが本番です。

宮前区のまちづくりを考える集い

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会は、1万人陳情署名の成果を踏まえて、これからの運動方向を考える集いを以下の要領で開きます。

日時 6月11日（金）
午後2時～

会場・市民館視聴覚室

お知らせ

鷺沼問題連鎖学習会

鷺沼考える会は、鷺沼駅前再開発計画が「1年～1年半先送り」することになったことをふまえ、この期間

鷺沼駅前再開発を考える会の3つの提案

- ①景観破壊、交通渋滞、風害もたらずタワマン反対
- ②現区役所と図書館・市民館に加えて、鷺沼駅前にもう一つの図書館・市民館、区役所支所を
- ③鷺沼再開発を住民合意ですすめるために一度立ち止まって考えなおしてください

No.9 2021年6月4日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
〔部内資料〕

に鷺沼駅前再開発の問題点を広く住民に知らせていこうと、「鷺沼問題連鎖学習会」を毎月1回、定期的に開催していくことを決めました。

第1回学習会は、7月19日（月）午後2時～、市民館視聴覚室でおこないます。

テキストは、現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会が作成のA4・四つ折りパンフで、参加者には事務局が用意します。

投稿歓迎

鷺沼駅前再開発について川崎市や再開発組合に対する意見や要望など、住民の声を投稿を歓迎します。

字数は500字程度です。「考える会」事務局の藤田宛連絡ください。（匿名可）